

令和5年度 総合的な学習の時間(みささタイム)全体計画

<p>関連法規等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学習指導要領 ・町及び県の教育施策 	<p>学校の教育目標</p> <p>高い志と豊かな感性を持ち、今をたくましく生きる生徒の育成</p>	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直な生徒が多く、自分の係活動や与えられた課題を、責任をもってやり遂げようとする。 ・調べ学習や体験活動に前向きに取り組むことができる。 ・自ら課題に気づいたり、進んで学習を深めたりする力が育っていない。 ・自分の意見を持ち、自信を持って伝えることが苦手な生徒が多い。
<p>社会の要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きる力の育成 ・生涯学習の基礎づくり ・今日的課題に対応できる能力の育成 	<p>総合的な学習の時間の目標</p> <p>○調査・体験活動を通し、主体的にたくましく生きる力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の生き方を考える。ー調査・体験活動を通して ・人権意識を高める。ー仲間づくり・調査活動を通して 	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の仲間として、一人ひとりが大切にされ、学校が楽しい学びの場であってほしい。 ・個性を伸ばし、自分の進路について積極的に考えてほしい。
<p>地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境に恵まれる。 ・観光資源や文化財に恵まれる。 ・地域で生徒を育てる、という生徒を見守る姿勢がある。 	<p>本年度の重点(努力点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探求的な学習活動とするために、 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現を意識して、スパイラルに高まっていくことを大切にする。 ○1年間の学習内容を、年間指導計画に基づいて各学年会で早めに話し合ったり実践記録を残したりして、見通しのある指導を行う。 ○地域、外部機関、保護者などとのより良い連携を図る。 ○評価基準表を見直し、指導と評価の一体化を図る。 ○各小学校との連携を図り、中学校の取り組みを積極的に伝える。 	<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマにそった課題を自ら設定し、課題の解決に向けた探求的な活動ができる生徒に育てたい。 ・自分の考えを持ち、それを伝えることができる生徒に育てたい。 ・人権に関わる問題を自分の問題としてとらえ、行動できる生徒に育てたい。

学習テーマの目標	
ふるさとキャリア教育	・職業についての調査活動、体験活動、地域の人々との交流などを通して、自分自身の生き方について考えを深める。 ・自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身につける。
人権	・体験活動、調査活動などを通して、生徒一人ひとりの人権意識を高める。 ・学校行事などの様々な取り組みを通して、学級への所属感を深め、互いに支え合う学級をつくる。
国際理解	・台湾、フランスを中心として交流を行い、国際的な視野や考え方、感覚を身に着ける。 ・各国の情報を収集し、分析する能力を養う。

学習内容・身につけさせたい資質・能力		
第一学年	第二学年	第三学年
<p>【意欲的な態度】 【学習活動に関わる表現力】 【人権尊重に対する意識・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとキャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る、地域(三徳山登山)に学ぶ ・職業調べ・社会人に学ぶ ○人権学習 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の理解 ・特別支援学校あるいは高齢者との交流学習 ・「いじめ撲滅宣言」・人権集会 ・人権弁論の取り組み・人権講演会 ○国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の生徒との交流 	<p>【意欲的な態度】 【自分の立場の自覚】 【人権尊重に対する意識・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとキャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・トライワークみささ(職場体験学習) ・高校調べ・先輩に学ぶ ・日本遺産など主にした郷土愛、愛校心 ○人権学習 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の理解 ・「いじめ撲滅宣言」・人権集会 ・人権弁論の取り組み ○国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の生徒との交流、台湾とフランスとの交流 	<p>【意欲的な態度】 【自分の立場の自覚】 【人権尊重に対する意識・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとキャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問、ふるさとのPR活動 ・進路選択・進路決定 ○人権学習 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の理解・人権講演会 ・「いじめ撲滅宣言」・人権集会 ・人権弁論の取り組み ・人権劇の取り組み ○国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の生徒との交流、台湾とフランスとの交流

指導方法	指導体制	評価計画
<ul style="list-style-type: none"> ○調査活動・体験活動の実施 ○小集団グループによる追究活動の充実 ○学習発表会での情報機器の活用 ○外部協力機関による援助 	<ul style="list-style-type: none"> ○みささタイム部会による教師間の連絡調整会議の実施 ○各学年会による詳しい学習内容の話し合い ○外部協力機関との連絡、支援体制の充実 ○保護者との連絡、支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画の作成とその実施 ○生徒一人ひとりの取り組みの蓄積 ○観点別評価規準の設定 ○通知票を使った家庭への連絡

主に関連する各教科等			
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や状況に応じて、自分の考えをまとめ、相手を意識して適切に表現する力。 ○自分自身をふり返り、理論的に文章を書ききる力。 	美術	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の伝えたいことを伝えるように形にする力。 ○地域を思う心や自然のもつ美しさ、公共の福祉にふさわしいデザインなどを考える力。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○人権確立の歴史や、人権を守るための法律、また共生社会に関する理解。 ○資料を効果的に収集し、わかりやすくまとめる力。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決力と、他と協力して表現する力。(合唱することを通して)
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、収集した情報をグラフや数などを用いて表現する力。 	技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活における資源やエネルギーについて考え、それらを有効に活用する力。(環境) ○情報収集能力及び活用能力。(コンピュータリテラシー)
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりが学習の主体者となり、自ら学び、考える力。 	道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会の一員としての自覚。勤労の尊さに対する理解と社会への奉仕の気持ち。(地域) ○互いの心情を思いやり、支え合って生きることの大切さに対する理解。(人権)
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことや気持ちを伝え合うことのできる人間関係づくり。 ○相手のことを理解しようとする態度。(コミュニケーション活動を通して) 	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○互いを認め合い、思いやりのある仲間づくり。 ○他者の考えや意見を受け入れて、前向きな集団をつくらうとする態度。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決能力(集団で目標を達成するための過程を通して) ○命の大切さを知り、「生きる」ということをしっかりと受けとめて、他者を大切にしようとする態度。 		

地域との連携	小学校との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の事業所、学校、保育所等への協力要請 ○役場、教育委員会、町人権・同和教育推進協議会、保護者等による授業援助 ○行政所有のマイクロバス等の交通機関の利用要請 	<ul style="list-style-type: none"> ○三朝町連絡協議会、学習指導部会を利用し、総合的な学習の時間の単元内容や指導方法などについて、積極的に情報交換を行う。 ○中学校区内にある小学校の総合的な学習の発表会を訪問する機会を設定する。